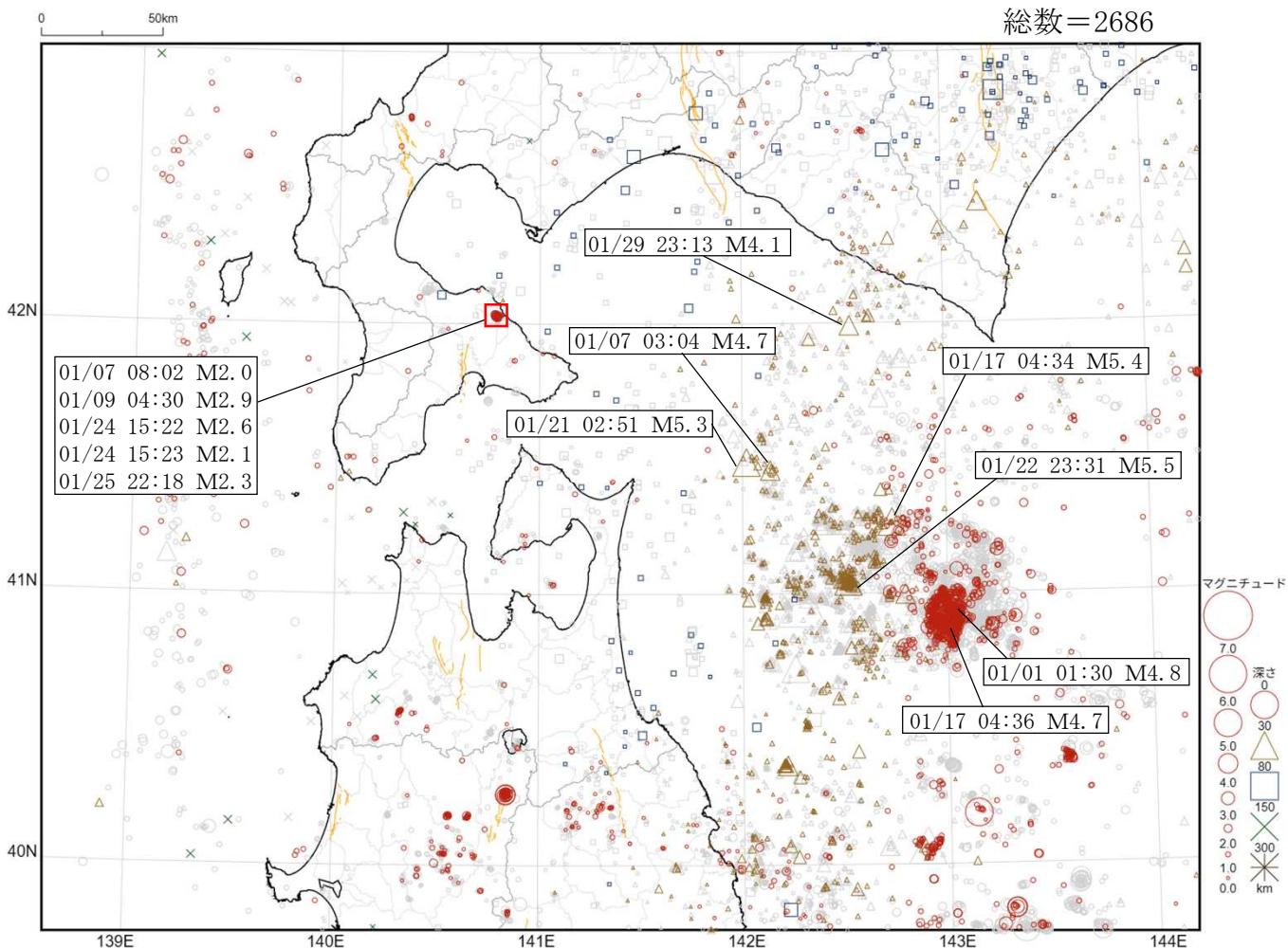


渡島・檜山地方の地震活動図

2026年1月

函館地方気象台

震央分布図



- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

地震概況（2026年1月）

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は13回（12月は39回）でした（詳細は「渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

9日04時30分、渡島地方東部の地震（M2.9、深さ10km）により、鹿部町で震度2を観測したほか、北斗市、七飯町、森町で震度1を観測しました。この期間、25日にかけて震度1の地震を4回観測しています。

これらの地震は北海道駒ヶ岳の南東約10kmで発生したものですが、地震の前後で北海道駒ヶ岳の火山活動に特段の変化は認められていません。

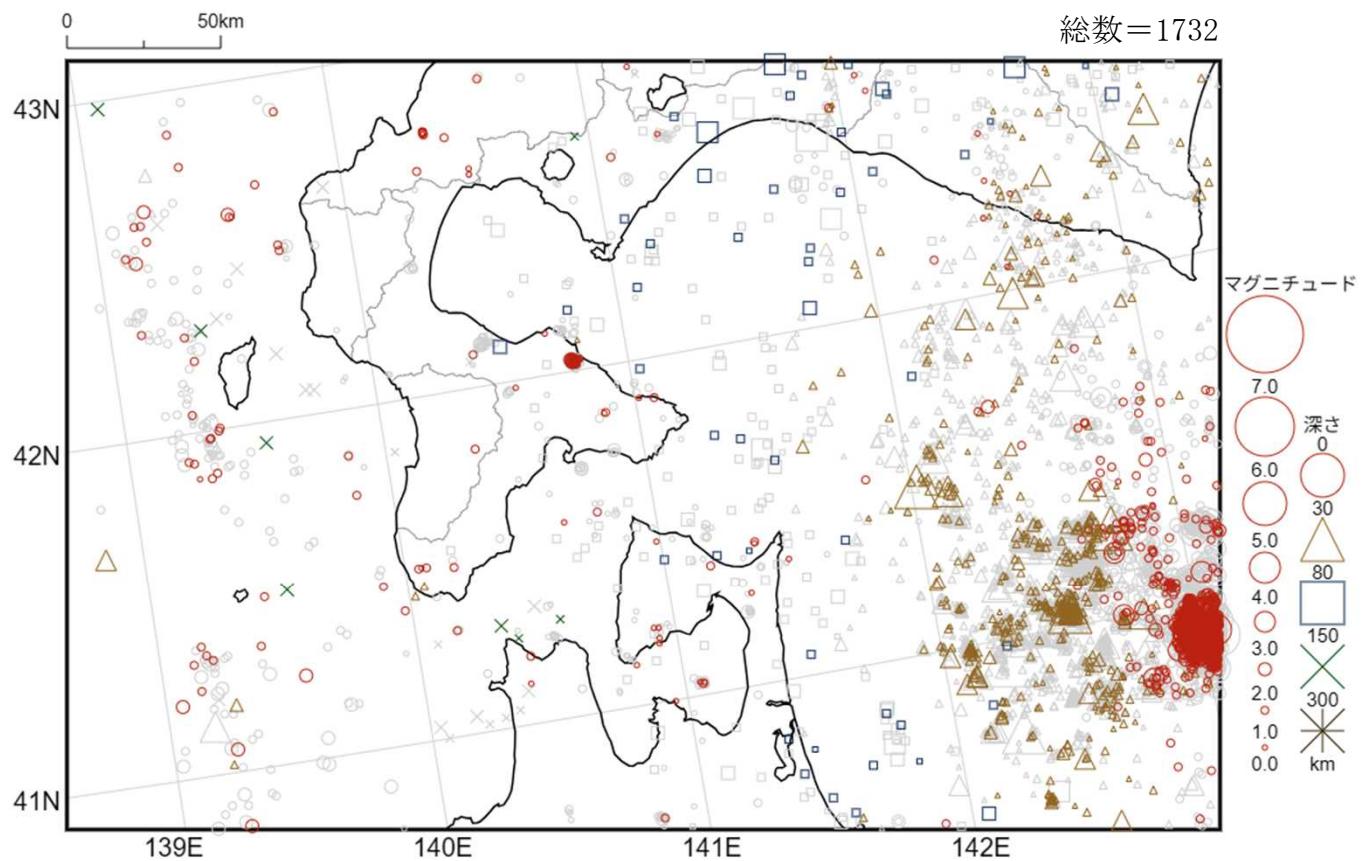
22日23時31分、青森県東方沖の地震（M5.5、深さ46km）により、函館市泊町で震度3、函館市新浜町、函館市日ノ浜町で震度2を観測したほか、渡島地方で震度1を観測しました。

この活動図は、函館地方気象台のホームページに掲載しています。

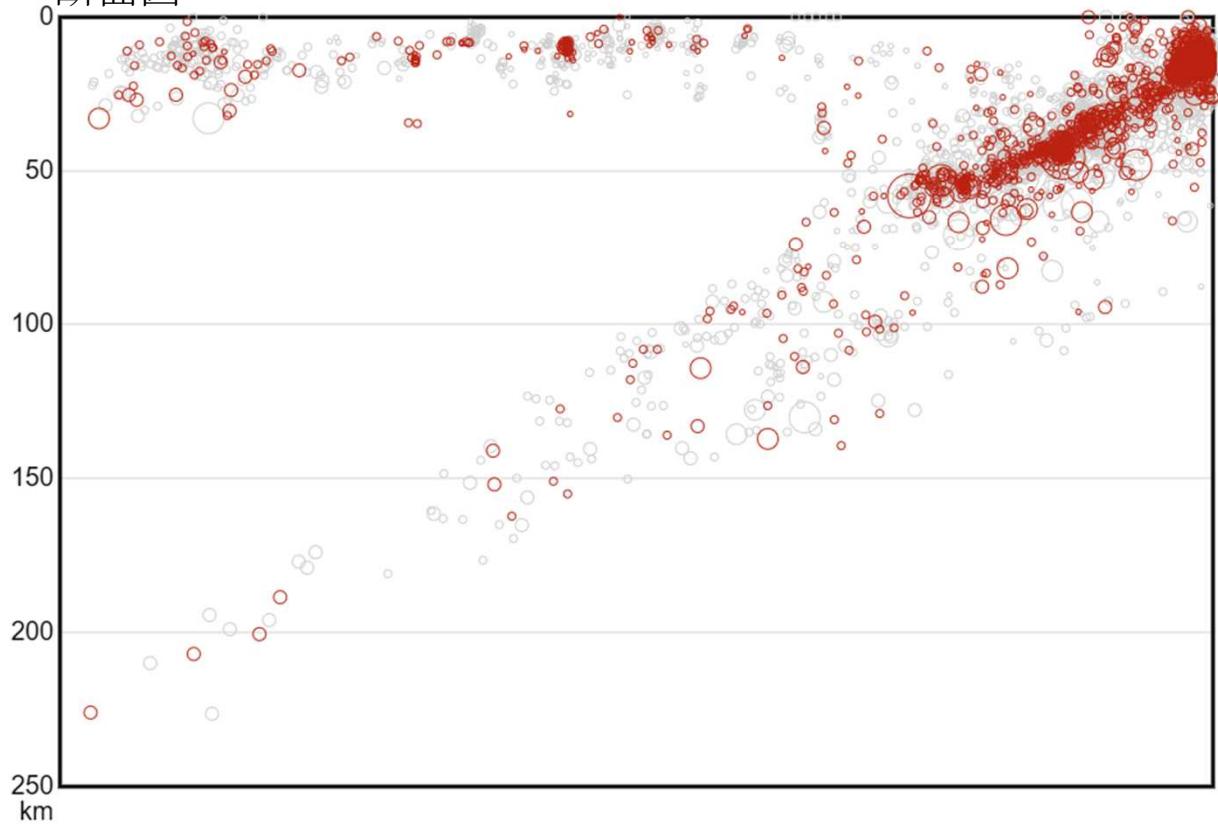
<https://www.data.jma.go.jp/hakodate-c/statistics/earthquake-report.html>
この資料に関する問い合わせ先 函館地方気象台 TEL 0138-46-2211

2026年1月

震央分布図



断面図

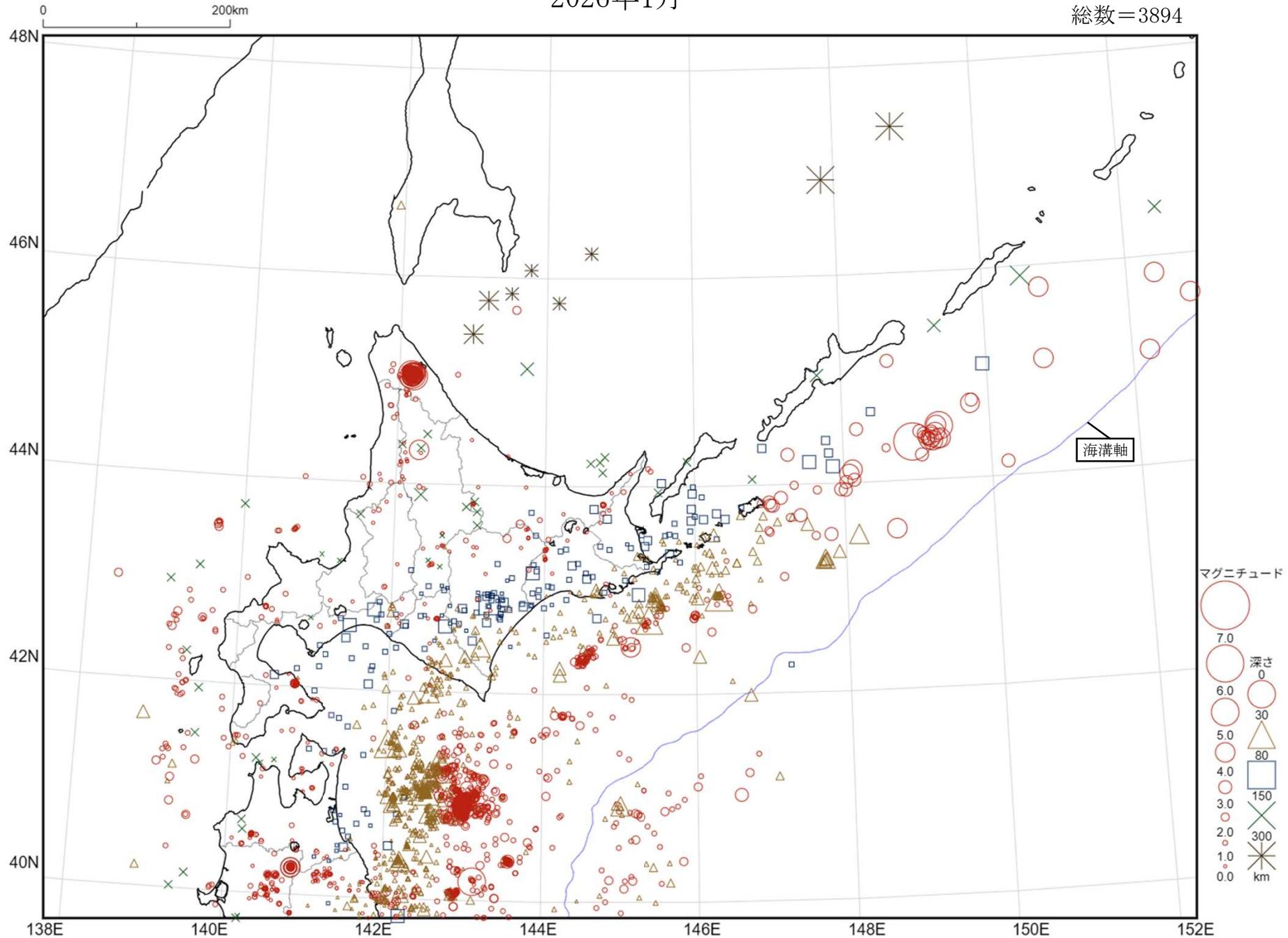


北海道の地震活動図

震央分布図

2026年1月

総数=3894



渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表 (2026年1月)

	年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
1	2026年 1月 1日 渡島地方	01時30分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(14)	40° 54.5' N	143° 03.3' E	23 km	M4.8
2	2026年 1月 7日 渡島地方	03時04分 震度 2 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(20) 函館市美原(08) 函館市大森町*(07) 七飯町桜町(05)	41° 27.5' N 函館市新浜町*(18) 函館市川汲町*(06) 七飯町本町*(06)	142° 08.2' E 函館市日ノ浜町*(13) 鹿部町宮浜*(07) 福島町福島*(05)	53 km	M4.7
3	2026年 1月 7日 渡島地方	08時02分 震度 1	渡島地方東部 鹿部町宮浜*(06)	42° 01.7' N	140° 46.8' E	9 km	M2.0
4	2026年 1月 9日 渡島地方	04時30分 震度 2 震度 1	渡島地方東部 鹿部町宮浜*(19) 七飯町本町*(08)	42° 01.5' N 42° 01.8' N	140° 46.7' E 140° 47.0' E	10 km 9 km	M2.9 ☆ M2.6 ☆
5	2026年 1月11日 渡島地方	13時15分 震度 2 震度 1	岩手県沿岸北部 函館市泊町*(16) 福島町福島*(05)	39° 33.3' N	141° 53.7' E	63 km	M5.1
6	2026年 1月17日 渡島地方	04時34分 震度 2 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(22) 函館市美原(12) 函館市大森町*(12) 七飯町桜町(09)	41° 15.7' N 函館市新浜町*(20) 函館市川汲町*(06) 七飯町本町*(07)	142° 43.9' E 函館市日ノ浜町*(14) 福島町福島*(07) 木古内町木古内*(11)	35 km	M5.4
7	2026年 1月17日 渡島地方	04時36分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(08)	40° 52.5' N	143° 00.8' E	16 km	M4.7
8	2026年 1月21日 渡島地方	02時51分 震度 2 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(23) 函館市美原(09) 函館市大森町*(12) 七飯町本町*(09) 福島町福島*(08)	41° 29.3' N 函館市新浜町*(20) 函館市日ノ浜町*(15) 函館市川汲町*(10) 七飯町桜町(07) 鹿部町宮浜*(10) 渡島森町上台町*(06) 渡島森町砂原*(09) 木古内町木古内*(09)	142° 01.2' E 函館市日ノ浜町*(15) 函館市川汲町*(10) 七飯町桜町(07) 鹿部町宮浜*(10) 渡島森町御幸町(05) 渡島森町上台町*(07) 渡島森町砂原*(08) 渡島北斗市中央*(12) 福島町福島*(08)	58 km	M5.3
9	2026年 1月22日 渡島地方	23時31分 震度 3 震度 2 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町*(26) 函館市新浜町*(22) 函館市日ノ浜町*(15) 函館市美原(12) 函館市大森町*(14) 函館市川汲町*(09) 七飯町本町*(10) 鹿部町宮浜*(09) 渡島森町御幸町(05) 渡島森町上台町*(07) 渡島森町砂原*(08) 渡島北斗市中央*(12) 福島町福島*(08)	41° 02.6' N	142° 30.9' E	46 km	M5.5
10	2026年 1月24日 渡島地方	15時22分 震度 1	渡島地方東部 鹿部町宮浜*(14)	42° 02.0' N	140° 46.7' E	10 km	M2.6
11	2026年 1月24日 渡島地方	15時23分 震度 1	渡島地方東部 鹿部町宮浜*(07)	42° 02.0' N	140° 46.5' E	10 km	M2.1
12	2026年 1月25日 渡島地方	22時18分 震度 1	渡島地方東部 鹿部町宮浜*(10)	42° 01.9' N	140° 47.1' E	10 km	M2.3
13	2026年 1月29日 渡島地方	23時13分 震度 1	浦河沖 函館市川汲町*(05)	41° 59.4' N	142° 32.0' E	66 km	M4.1

☆ 近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため、震度の分離ができないことを示します。
地震は規模順に並べています。

*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
() 内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

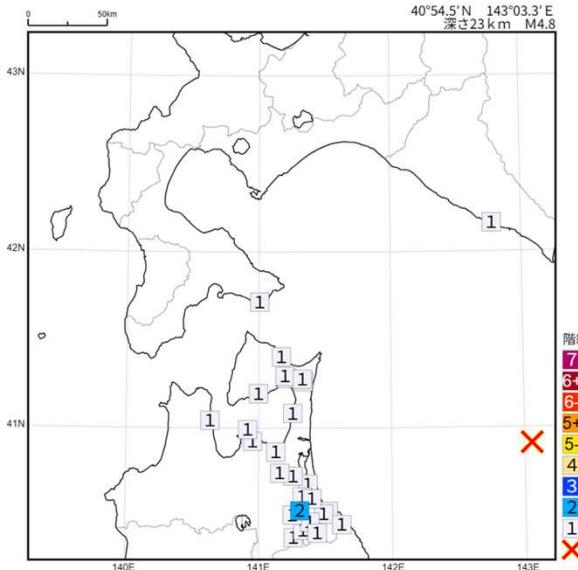
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

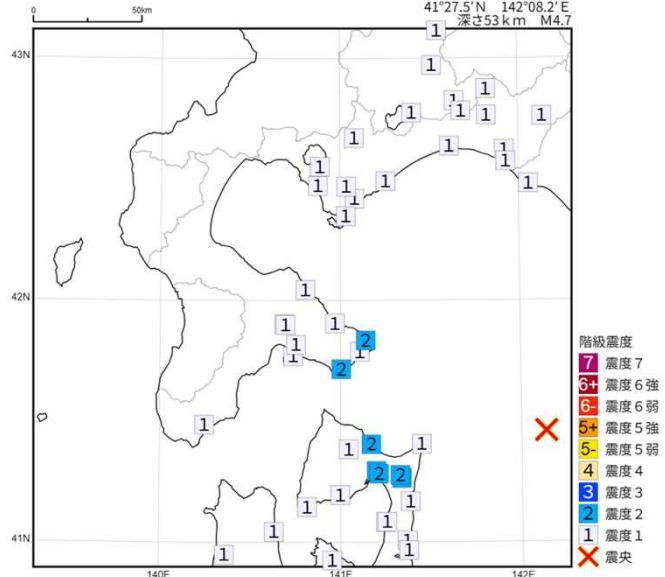
本資料の利用にあたって

- ・本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

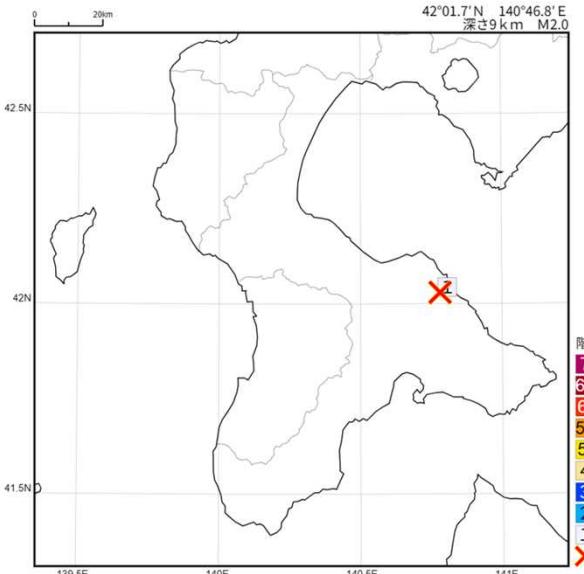
2026年1月1日 01時30分 青森県東方沖の地震の震度分布図



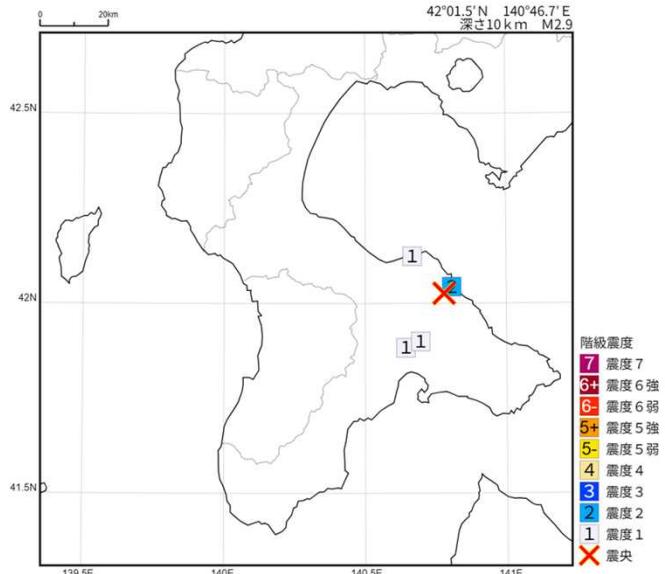
2026年1月7日 03時04分 青森県東方沖の地震の震度分布図



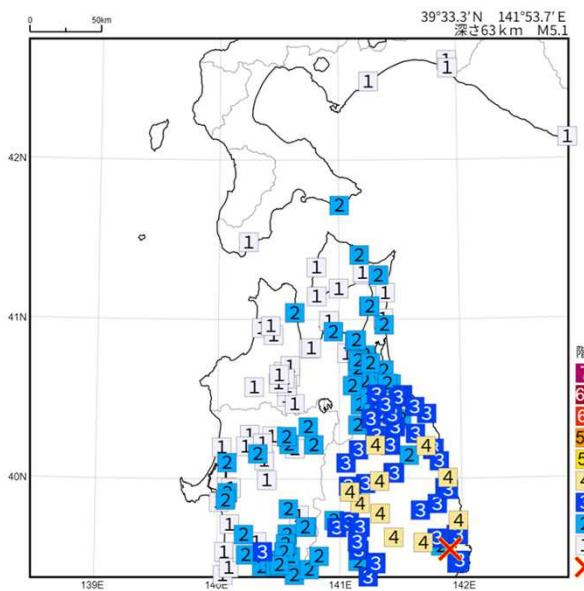
2026年1月7日 08時02分 渡島地方東部の地震の震度分布図



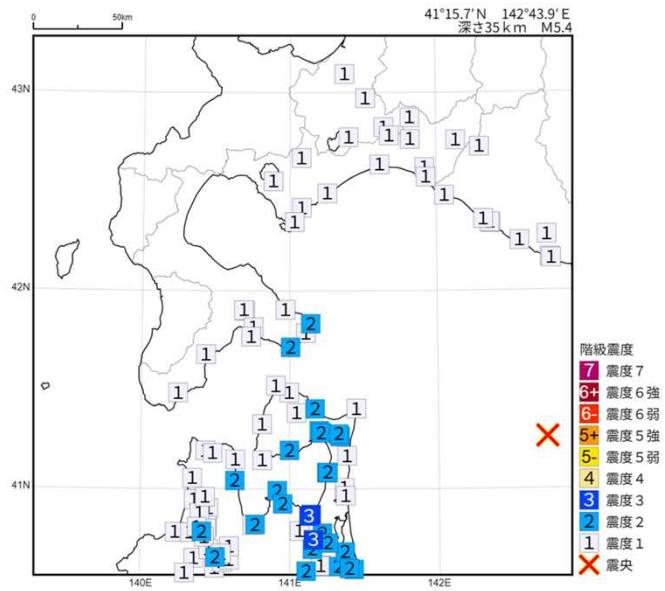
2026年1月9日 04時30分 渡島地方東部の地震の震度分布図



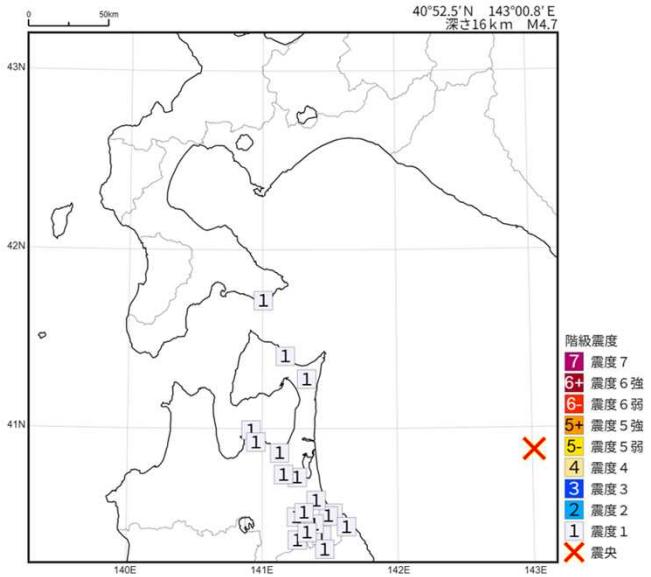
2026年1月11日 13時15分 岩手県沿岸北部の地震の震度分布図



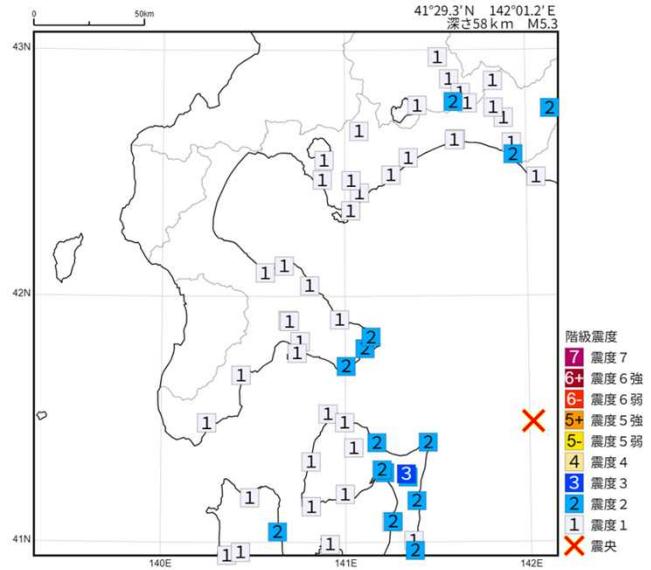
2026年1月17日 04時34分 青森県東方沖の地震の震度分布図



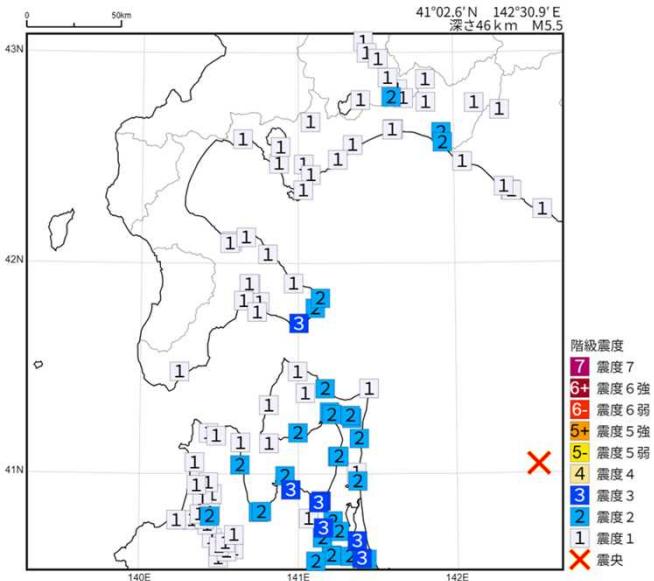
2026年1月17日 04時36分 青森県東方沖の地震の震度分布図



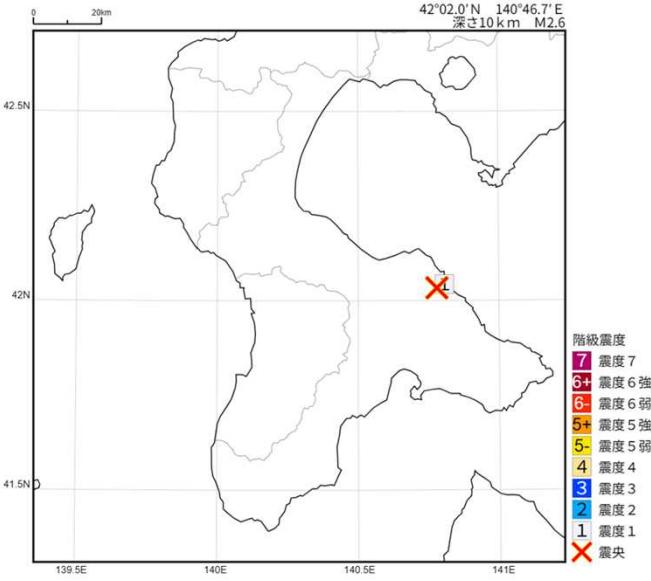
2026年1月21日 02時51分 青森県東方沖の地震の震度分布図



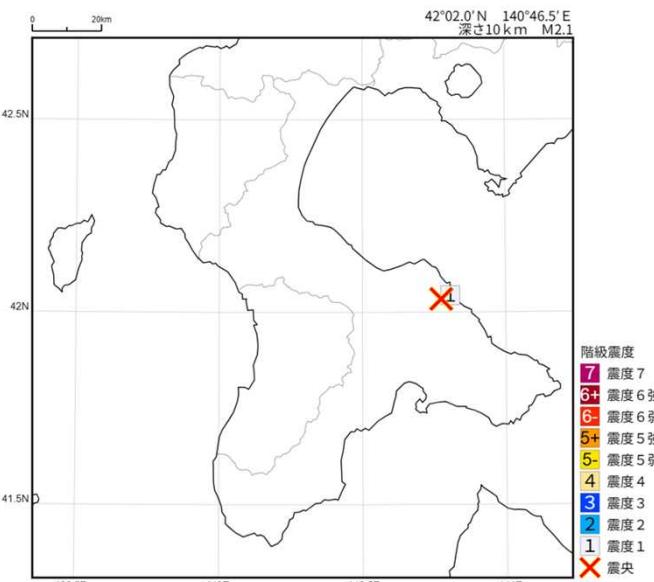
2026年1月22日 23時31分 青森県東方沖の地震の震度分布図



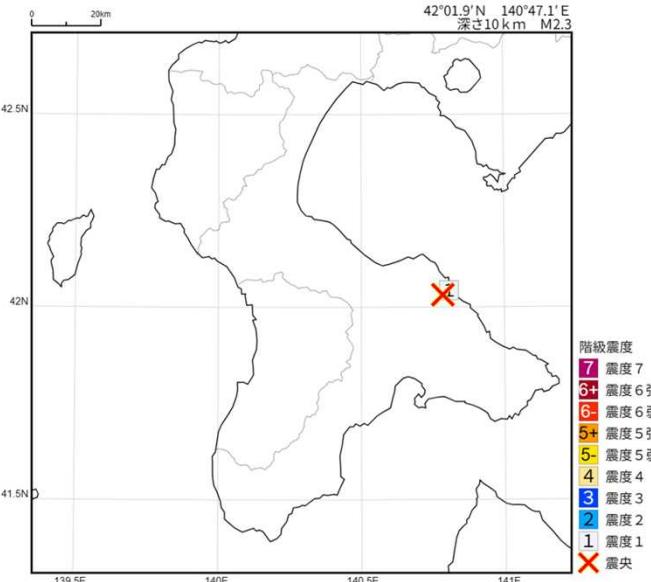
2026年1月24日 15時22分 渡島地方東部の地震の震度分布図



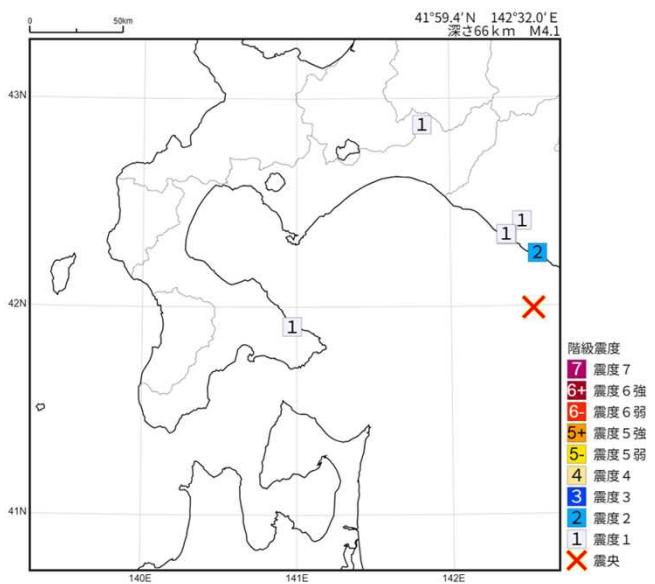
2026年1月24日 15時23分 渡島地方東部の地震の震度分布図



2026年1月25日 22時18分 渡島地方東部の地震の震度分布図



2026年 1月29日 23時13分 浦河沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～異常震域～

一般に、地震の揺れは震源に近い場所ほど強く、遠い場所ほど弱くなります。しかし、震源が非常に深い地震（深発地震）の場合、震源の真上ではほとんど揺れないのに、震源から離れた場所で揺れを観測することがあります。この現象を「異常震域」と呼びます。

日本周辺では、陸のプレートの下に海洋プレートが沈み込んでいます。この海洋プレートと陸のプレートの間には地震波が減衰しやすい領域があるため、沈み込んだ海洋プレートのかなり深い場所で地震が発生すると、地震波が減衰しにくい海洋プレートを通って地震波が伝わる太平洋側で震度が大きくなることがあります（図1、図2）。

特徴的な震度分布のため「異常震域」と呼ばれます。発生した地震自体が異常というわけではありません。なお、異常震域を生じるような深発地震でも、地震の規模が大きくなれば強い揺れによる被害を生じることがあります。

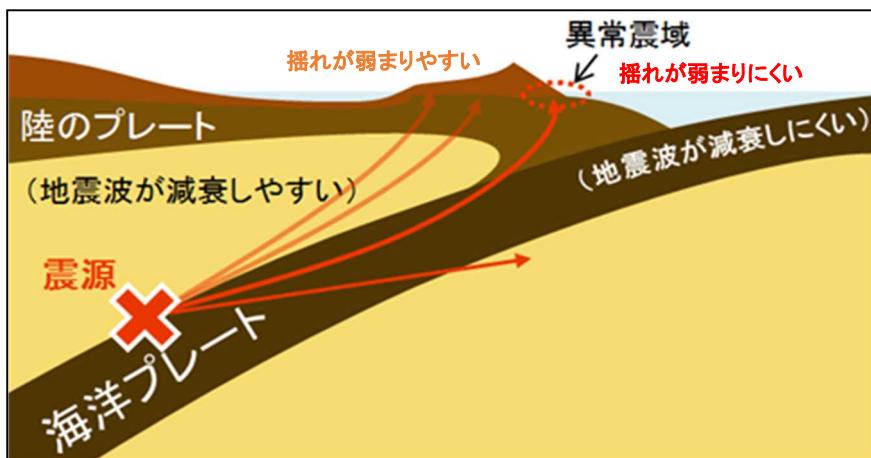
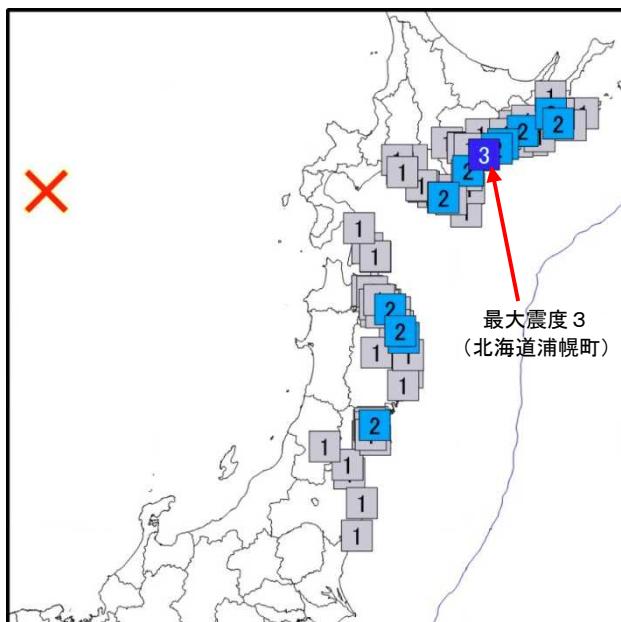
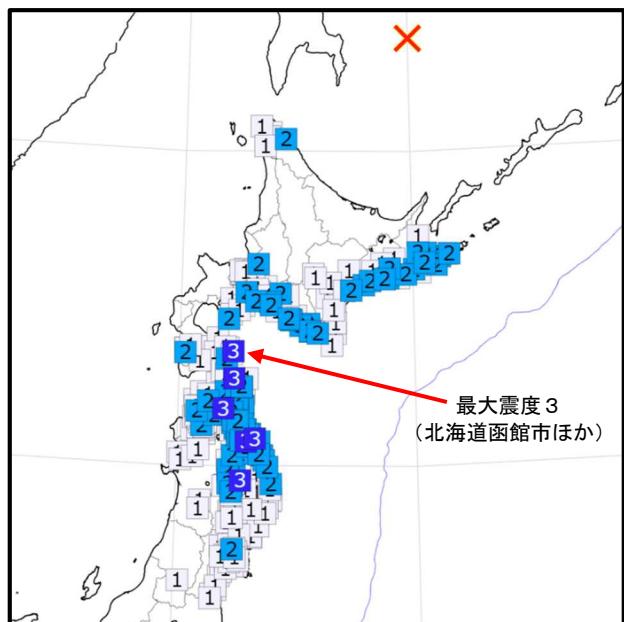


図 1 異常震域模式図（断面図）



日本海北部の地震の震度分布図

(2023年6月28日 M 6.3 深さ518km)



オホーツク海南部の地震の震度分布図

(2024年8月10日 M 6.7 深さ447km)

図2 異常震域の事例(×印は震央、数字は震度を示す)